

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	杜のつぐみ療育園荒井園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日	～	令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日	～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室にて1対1の療育をしっかりと行うことができる。	個室を設置しているため、視覚的な刺激も少なく職員の話に集中できるため、より効果的な療育が行えております。	提供時間帯を放デイと少しずらすことで、音に対する配慮も行い、より内容が入りやすい環境での療育提供を心掛けていきます。
2	言語聴覚士が在籍していることで専門的な言語療育を提供することができる。	検査バッテリーなどを使用することで、お子さまの言語段階の把握を的確に行い、お子さまに適した言語療育を提供することができております。	更に検査バッテリーを増やし、お子さまの言語力を把握できる範囲を拡大し、より専門的なアプローチができるよう配慮してまいります。
3	就学を見越したアプローチを行っている。	年長、年中など早期から就学を見通し、就学時にいいスタートをきれるようなプログラム設定を意識的に行っております。	一年毎に目標達成のチェックリストなどを作成し、達成度がどのくらいかなどを視覚的に把握することで現状を保護者様とフィードバックし、今後の見通しが立てられるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	完全個室ではないため、放デイのお子さまの声などが聞こえてしまう。	上部が消防法の規定により吹き抜けになっていることが声などが聞こえてしまう要因となっております。	上記にも記載がありますが、より刺激が少ない状況で課題集中できるよう、提供日時の調整を行ってまいります。
2	言語聴覚士が一名しかいない状況であり、不在の際は言語聴覚士以外が対応することになってしまう。	一名しかいないため言語聴覚士が休みの際、不在になり言語療育が申し送りの範囲でしか行えないことが課題であると考えます。	不在の穴を埋めることで切れ目なく言語療育が提供できるよう言語聴覚士の採用に尽力してまいります。
3	1時間マンツーマンの療育のため、イベント参加や外出などが行えない。	1時間の限られた時間でのイベント開催が困難であることが要因として考えられます。	時間の延長などを保護者様と調整させていただき、児童発達支援のお子さまのみのイベントなどを計画していきます。